2022年M月D日 EX0123 駒澤翔平

田中素香『ユーロ　危機の中の統一通貨』岩波書店、2010年

1.目次

はしがき

Ⅰ章：ユーロの歩み　―1999～2010年―

Ⅱ章：ユーロ導入までの道のり　―1970年～1998年―

Ⅲ章：ユーロはどういう仕組みなのか

Ⅳ章：世界金融危機とユーロ

Ⅴ章：ギリシャ危機とユーロ存亡の危機　―2010年以降―

終章：ユーロ再考　―課題と展望―

あとがき

2.著者紹介

田中 素香（たなか そこう）

1945年 福岡県生まれ

1971年 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了。現職（2010年現在）：中央大学経済学部教授、経済学博士。専攻：ヨーロッパ経済論、統合経済論

著書：

『世界経済・金融危機とヨーロッパ』編著、勁草書房、2010年。

『検証・金融危機と世界経済―危機後の課題と展望』共編著、勁草書房、2010年。

『拡大するユーロ経済圏―その強さとひずみを検証する』　日本経済新聞出版社、　2007年。

『ユーロ その衝撃とゆくえ』岩波新書、2002年

ほか多数。

3.選定理由

ユーロの仕組みを明確にする。

ユーロと金融危機との関わりを見直す。

ECB（ヨーロッパ中央銀行）の役割を知る。

ユーロが崩壊しない理由を議論する。

リーマンショックとEU・ユーロとの関わりを見直す。

ギリシャ危機の始まりを見直す。

ユーロ離脱とは何か？また、その可能性を考察する。

「リージョナル・インバランス」とは何か知る。

ユーロ危機に何をすべきかを議論する。

ギリシャ危機以降の加盟国・ECB・IMFの動向を明確にする。

ユーロの仕組みを明確にする。

ユーロと金融危機との関わりを見直す。

ECB（ヨーロッパ中央銀行）の役割を知る。